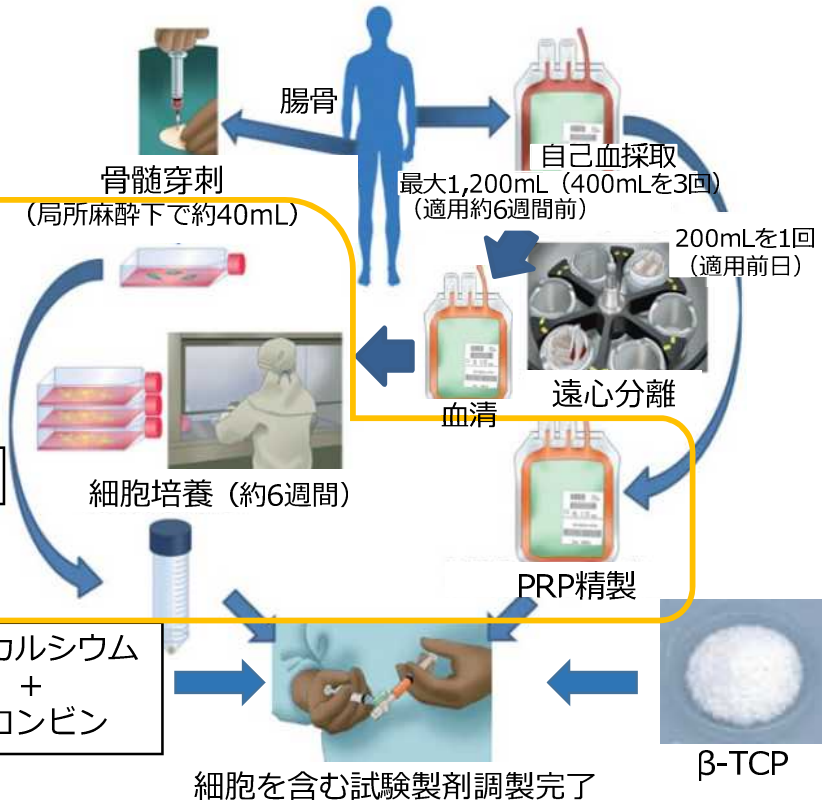
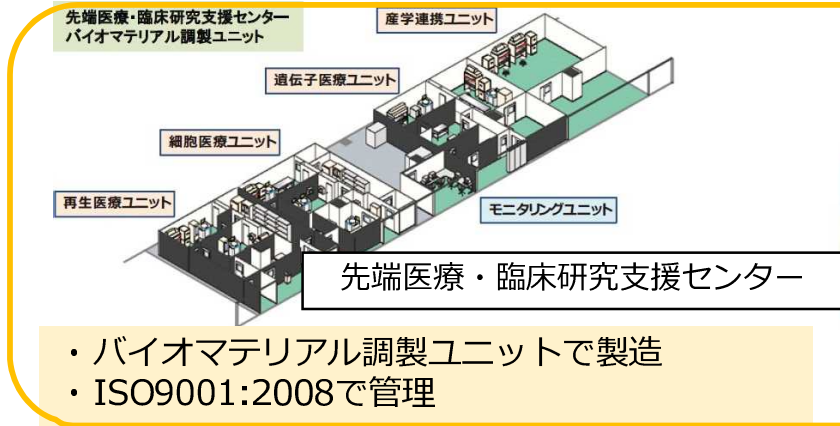


医療技術の概要

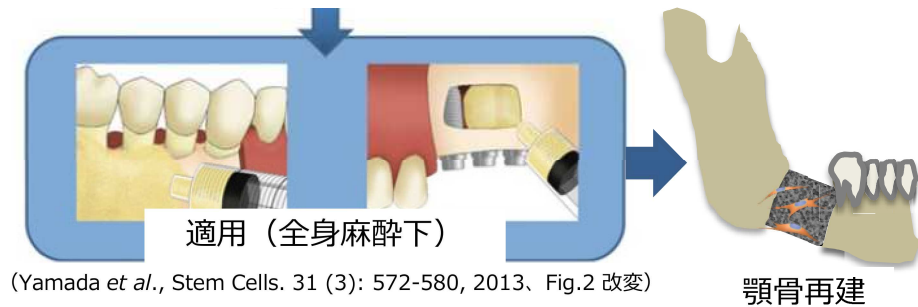


大きな顎骨欠損 (腫瘍、外傷などが原因)

※従来の治療方法

- ・自家骨移植
- ・人工骨ブロック適用

大きな侵襲
移植骨の大きさ、形体に問題



顎骨欠損部に足場材 (β-TCP) とともに適用

→咀嚼、嚥下、発音、審美など
患者QOLに直結する低侵襲治療を可能にする再生医療製品の開発

- ・適用後7~10日を目安に退院
- ・適用24カ月まで有効性及び安全性を確認